



デジタル逆電力リレー
REVERS POWER PROTECTION DEVICE

DRPR-72



72mm角の小形ボディに 逆電力リレーと電力計をパッケージ

高速応答

計測応答100ms以下により
使用電力を高速に監視、
MODBUS通信出力可能。
パワーコンディショナーの
高速制御に最適です。

監視と保護を一体化

受電端で逆電力や不足電力を監視、系統側で起きた事故を検出し、発電設備などを系統から解列させることができます。

分割型電流センサ

分割型電流センサを使用するため、限られたスペースでも容易に設置が可能です。追加の設置工事にも柔軟に対応します。(電流センサはオプションです)

省スペース・省工数

コンパクトなDIN72×72mmサイズで狭いスペースに設置可能。ねじレススプリング式端子台採用により配線工数を低減します。

安全にご使用いただくために

■ 使用環境及び使用条件

下記の環境下では本製品を使用しないでください。誤動作や故障につながる場合があります。

- ① 周囲温度 -10 ～ +55℃、湿度 5 ～ 90% RH を超える場所
- ② 腐食性ガスが発生する場所（腐食性ガス：SO₂ / H₂S など）
- ③ 塵埃の発生する場所
- ④ 振動や衝撃の多い場所
- ⑤ 外来ノイズの多い場所
- ⑥ 標高 2000m を超える場所
- ⑦ サイクル制御、SCR 位相角制御、PWM 制御のインバータ出力を直接計測した場合、測定誤差が大きくなる場合があります。

■ 屋外盤での使用条件

屋外盤で使用する場合は、下記の事項にご注意ください。

- ① 本製品は、防塵、防水、防滴構造ではありません。塵埃の発生する場所は避け、雨や水滴が直接当たらない場所に設置してください。（保護等級 IP40）
- ② 直接日光が当たる場所には設置しないでください。ガラス越しであってもできるだけ直射日光が当たらないよう配慮してください。直射日光が当たりますと表面温度が上昇し、80℃を超えるとケースの変形が起こることがあります。
- ③ 周囲の日平均温度が 40℃を超えると寿命低下の原因となります。

■ 使用前の準備

本製品は使用前に整定が必要です。取扱説明書をお読みのうえ、正しく整定してください。整定に誤りがありますと正しく動作しません。

■ 保守・点検

- 通電中の点検は、危険ですので行わないでください。
- 定期点検における交換部品はありません。
- 清掃する場合、乾いた柔らかい布などで軽く拭き取ってください。アルコールなどの有機溶剤や化学薬品、クリーナーなどは使用しないでください。

■ 保管

長期間保管する場合は、次の環境下は避けてください。

- 周囲温度 -20 ～ +70℃、湿度 5 ～ 90% RH を超える場所
- 日平均温度が 40℃を超える場所
- 使用環境及び使用条件 ②～④に該当する場所

■ 故障時の処置

故障の場合は原則、現品を引き取り修理することになります。

■ 廃棄

本製品を燃やしますと、環境に悪影響を与えます。本製品を廃棄する場合は産業廃棄物（不燃ゴミ）としてください。本製品には水銀部品、ニッケル電池は使用しておりません。

■ システム設計上の配慮

本器は、内部回路に信頼性の高い部品を採用しておりますが、部品の偶発故障等により誤動作や誤不動作が発生する可能性があります。システムの要求される信頼度水準に応じてシステム設計上の配慮（二重化、フェールセーフ回路の設置）をお願いします。

■ 製品の交換周期

ご使用状況にもよりますが、10 年を目安として更新をお薦めします。

！ 注意

取付や配線を行うときは取扱説明書を参照のうえ、下記注意事項を守り専門技術を有する人が行ってください。

- 結線は結線図を確認のうえ、行ってください。不適切な結線は機器の故障や焼損、火災の原因となります。
- 活線作業は禁止してください。感電・機器の故障・焼損・火災・ガスなど爆発の原因となり大変危険です。
- 通電電流に適したサイズの電線を使用してください。不適切な電線の使用は火災の恐れがあります。
- 電線の被覆剥き長さは適正な長さで行ってください。長すぎると隣の電線とショートするおそれがあります。また、短すぎると電線の割合が悪くなり接触不良となるおそれがあります。
- 芯線のひげ線による隣接極との短絡にご注意ください。
- 本製品をご使用される際は、必ず専用の電流センサと組み合わせて

ご使用ください。電流センサは入力定格を超えて使用しないでください。

- 電流センサを接続する一次ケーブルは、貫通可能な絶縁電線を使用し、非絶縁電線又は導体（ブスバーなど）は使用しないでください。
- 電流センサのコア分割面にゴミが付着したり、錆が発生すると特性が悪くなり誤差が生じます。設置時にコア分割面が汚れないよう十分注意してください。汚れた場合は乾いた布で清掃してご使用ください。
- 電流センサの二次は、安全のため開放状態で連続通電はしないでください。ただし、二次端子開放の保護回路を内蔵しているため配線工事期間中の開放には問題ありません。
- 電流センサには極性があります。設置時に注意して接続してください。
- 制御出力の接点容量は AC125V/70mA、DC200V/70mA です。ご使用の際は使用電圧にご注意ください。

保証について

■ 保証期間

保証期間はご注文主のご指定場所に納入後一年といたします。

■ 保証範囲

万一、保証期間中に当社製品に当社側の責による故障や瑕疵が明らかになった場合、瑕疵部分の交換、修理を無償で行わせていただきます。ただし、故障や瑕疵が次の項目に該当する場合は、当社は責任を負いかねます。

- 取扱説明書や仕様書に記載されていない取扱いによる場合。
- 故障や瑕疵の原因が購入品及び納入品以外の理由による場合。
- ご購入後あるいは納入後に行われた当社側が係わっていない改造又は修理が原因の場合。

- ご購入時あるいは契約時に実用化されていた科学、技術では予見することが不可能な現象に起因する場合。

- 当社製品を貴社の機器に組み込んで使用される際、貴社の機器が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。
- 本来の使い方以外での用途で使用了した場合。
- 火災、異常電圧などの不可抗力による外部要因及び地震、雷、風水害などの天変地異による場合。なお、当社の責に帰することができない事由から生じた損害、二次損害、当社製品以外への損傷及びその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

概要

本器は逆電力継電器とマルチメータの機能を一体化した製品です。使用電力の高速監視（計測応答 100ms 以下）により、自家消費型太陽光発電システムなど効率的に発電機を高速制御するシステムの構築に最適です。

特長

■高速応答

計測応答 100ms 以下により使用電力を高速に監視、MODBUS通信出力可能。パワーコンディショナーの高速制御に最適です。

■監視と保護を一体化

受電端で逆電力や不足電力を監視、系統側で起きた事故を検出し、発電設備などを系統から解列させることができます。

■分割型電流センサを使用

分割型電流センサによる入力のため、限られたスペースでも容易に設置が可能です。追加の設置工事にも柔軟に対応します。（電流センサはオプション）

■省スペース・省工数

コンパクトな DIN72×72mm サイズで、狭いスペースに設置が可能です。ねじレススプリング式端子台採用により配線工数を低減します。



ご注文時の指定事項

※形名、台数をご指定ください。仕様コードはございません。

DRPR-72

形名

機能

■定格

項目		定格		
入力回路		三相3線, 単相3線, 単相2線 共用		
入力	電圧定格	三相3線、単相2線: AC110V, 220V, 440V 共用 50/60Hz 単相3線: AC100-200V 50/60Hz		
	電流定格	5A	分割型電流センサー CTF-5A (マルチ計測器製)	CT二次側接続
		200A	分割型電流センサー CTF-200A (マルチ計測器製)	低圧回路に使用
	制御入力 (BI)	無電圧接点入力: 1点 接点容量 (DC24V 約10mA)		
出力	MODBUS通信出力	Modbus RTU: RS-485 半二重2線式 調歩同期式		
	制御出力 (BO)	2点 光MOS-FETリレー 1a接点		
制御電源	電源範囲 消費電力	AC85~264V 消費電力: 5VA (定格電圧 AC100/110V, 200/220V) DC80~143V 消費電力: 2W (定格電圧 DC100/110V) 交流直流両用		
		定格電圧 AC 110V 2.2A以下 (約3ms)		
	突入電流 (時定数)	定格電圧 AC 220V 4.4A以下 (約3ms)		
		定格電圧 DC 110V 1.6A以下 (約3ms)		

■保護機能

要素	項目		仕様	許容誤差	備考
逆電力 (67P)	RP	動作値	ロック, 0.4%~30.0% (0.1%ステップ) 定格電流に対する%で整定	整定値±25% (整定値<1%) 整定値±10% (整定値1%~5%) 整定値±5% (整定値≥5%)	電圧入力: 定格電圧 電流位相: 最高感度角方向 最高感度角: 180°±5°
		復帰値	動作値の75%以上 (整定値<1%) 動作値の90%以上 (整定値≥1%)	-	-
		動作時間	0.3~15.0s (0.1sステップ)	整定値±50ms	-
		復帰時間	2~600s (1sステップ)	整定値±200ms	-
	ブレ アラーム	動作時間	0.1~1.0s (0.1sステップ) RPの動作時間以下に整定	整定値±50ms	動作値および復帰値はRPRの 整定値と同じ通信出力のみ出力
		復帰時間	RPの整定値による	整定値±200ms	
	UVロック機能		ON: 使用, OFF: 未使用	二次定格電圧110V整定: 60V±5% 二次定格電圧220V整定: 120V±5% 二次定格電圧440V整定: 240V±5%	各相のORにてロック UVロック値は、二次定格 電圧整定による
不足電力 (91L)	UP	動作値	ロック, 1.0~30.0% (0.1%ステップ) 定格電流に対する%で整定	整定値±10% (整定値<5%) 整定値±5% (整定値≥5%)	電圧入力: 定格電圧 電流位相: 最高感度角方向 最高感度角: 0°±5°
		復帰値	動作値105%以下	-	-
		動作時間	0.3~15.0s (0.1sステップ)	整定値±50ms	-
		復帰時間	2~600s (1sステップ)	整定値±200ms	-
	UVロック機能		ON: 使用, OFF: 未使用	二次定格電圧110V整定: 60V±5% 二次定格電圧220V整定: 120V±5% 二次定格電圧440V整定: 240V±5%	各相のORにてロック UVロック値は、二次定格 電圧整定による
	断線検出機能		ON: 使用, OFF: 未使用	定格電流の0.5%未満	各相のORにて検出

■計測機能

計測項目	計測可能項目			最大	最小	備考
	三相3線	単相3線	単相			
電圧	U12, U23, U31, ULLavg	U1N, U3N, U13, ULNavg	U	○	○	相表示は整定にて 『L1-2-3-N』, 『R-S-T-N』, 『U-V-W-N』 より選択が可能
電流	I1, I2, I3, Iavg	I1, I3, IN, Iavg	I	○	○	
需要電流	DEMAND I1, I2, I3, Iavg	DEMAND I1, I3, IN, Iavg	DEMAND I	○	○	
電力	$\sum P$		P	○	○	-
需要電力	DEMAND $\sum P$		DEMAND P	○	○	-
無効電力	$\sum Q$		Q	○	○	演算方法を $Q=U \times I \times \sin \phi$ または $Q=\sqrt{(S^2-P^2)}$ より選択可能
皮相電力	$\sum S$		S	○	○	三相3線は電圧平衡条件付
力率	$\sum PF$		PF	○	○	低入力時『---』表示, 3E8H(1000) 出力
周波数	f			○	○	低入力時は0表示・出力
電力量	受電/送電			-	-	受電/送電を個別に計測
無効電力量	受電 (LAG・LEAD) / 送電 (LAG・LEAD)			-	-	受電(LAG/LEAD) および 送電(LAG/LEAD)を個別に計測

■規格

項目	仕様
準拠規格	トランスデューサ IEC 60688:2012, JIS C 1111:2019 電力量 IEC 62053-21:2003, JIS C 1271-1:2011 無効電力量 IEC 62053-23:2003, JIS C 1273-1:2011
安全	IEC 61010-1 (2010) 計測, 制御及び試験所使用電気機器の安全要求事項—第1部: 一般要求事項 測定カテゴリⅢ, 汚染度 2, 最大使用電圧: 300V (ライン対中性点間電圧)

機能詳細

■通信出力

通信仕様	仕様・性能			
Modbus RTUモード	RS-485 半二重2線式 調歩同期式			
	ビット速度	4800 / 9600 / 19200 / 38400bps	ストップビット	1ビット / 2ビット
	伝送符号	NRZ	伝送コード	バイナリ
	スタートビット	1ビット	ケーブル長	1000m (総延長)
	データ長	8ビット	アドレス	1～247 (接続台数 最大31台)
	パリティ	なし / 偶数 / 奇数	誤り検出	CRC-16 (X ¹⁶ +X ¹⁵ +X ² +1)
終端抵抗	端子部に外付け 1W 100Ω (製品に添付)			

■制御出力

項目	仕様・性能	
仕様	出力点数	2点
	出力方式	光MOS-FET リレー 1a接点
	接点容量	AC125V 70mA (抵抗負荷, 誘導負荷), DC200V 70mA (抵抗負荷, 誘導負荷)
	接点構成	a接点
	復帰方式	Auto (自動復帰) / Hold (手動復帰) 整定にて切替
出力要素	制御出力1	逆電力 (67P)
	制御出力2	不足電力 (91L)

■制御入力

項目	仕様・性能	
仕様	入力点数	1点
	入力定格	無電圧接点入力 (DC24V, 10mA)
	最小動作パルス幅	100ms、連続印加可能
機能	リレーロック入力	入力中、整定中の制御出力 (RP, UP) をロック 制御入力の状態をMODBUS通信に出力
	状態入力	制御入力の状態をMODBUS通信に出力

■測定レンジ

一次定格電圧	二次定格電圧110V または220Vに対する一次定格電圧を整定、110V～110.0kVまで整定可能 (32レンジ:下表参照)													
	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格
	1	110.0V	6	400V	10	480V	15	1650V	20	6600V	25	16.50kV	30	66.00kV
	2	110V	7	415V	11	690V	16	2200V	21	6.60kV	26	18.40kV	31	77.0kV
	3	220.0V	8	440V	12	880V	17	2.20kV	22	11.00kV	27	20.00kV	32	110.0kV
	4	220V	8	440V	13	990V	18	3300V	23	13.20kV	28	22.00kV		
	5	380V	9	460V	14	1100V	19	3.30kV	24	13.80kV	29	33.00kV		
一次定格電流	電流センサと組合せて使用する汎用変流器 (CT) に合わせて一次定格電流を30.00kAまで整定可能 (48レンジ)													
	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格	No.	一次定格
	1	5.00A	8	20.00A	15	80.0A	22	400A	29	1200A	36	3500A	43	9.00kA
	2	6.00A	9	25.00A	16	100.0A	23	500A	30	1500A	37	4000A	44	10.00kA
	3	7.50A	10	30.00A	17	120.0A	24	600A	31	1600A	38	4500A	45	12.00kA
	4	8.00A	11	40.0A	18	150.0A	25	750A	32	1800A	39	5000A	46	15.00kA
	5	10.00A	12	50.0A	19	200.0A	26	800A	33	2000A	40	6000A	47	20.00kA
	6	12.00A	13	60.0A	20	250.0A	27	900A	34	2500A	41	7500A	48	30.00kA
	7	15.00A	14	75.0A	21	300.0A	28	1000A	35	3000A	42	8000A		

■性能・階級

計測項目	測定レンジ / 表示仕様	階級指数 (1)		備考
		表示	出力	
電圧	AC110V～110.0kV	0.5	0.5	
電流、需要電流	AC5.00A～30.00kA	0.5	0.5	需要電流は表示のみ
電力、需要電力	一次電圧, 電流整定による	0.5	0.5	需要電力は表示のみ
無効電力	一次電圧, 電流整定による	0.5	0.5	
皮相電力	一次電圧, 電流整定による	0.5	－	電圧平衡条件付
力率	LEAD0.000～1.000～LAG 0.000	1.5	1.5	
周波数	45.00～65.00Hz	0.5	－	
電力量	表示: 9桁	2.0		単位: kWhまたはMWh
無効電力量	表示: 9桁	2.0		単位: kvarhまたはMvarh
動作方式	電流, 電圧 : 実効値演算方式 需要電流 : 熱動形に合わせた演算方式, 需要電力デマンド時限内での平均値 電力, 電力量 : 時分割掛算方式 無効電力, 無効電力量 : 時分割掛算方式または、電力・皮相電力から算出 (整定にて選択) 皮相電力 : 電圧、電流より算出 力率 : 電力, 無効電力より算出 周波数 : ゼロクロス周期演算方式			
計測応答	表示	1秒		
	通信出力	100ms以下 (ビット速度:19200bps, 38400bps設定時)		
時限整定	需要電流	0秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 6分 / 7分 / 8分 / 9分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分 (95%時限)		
	需要電力			

注(1) 特に指定のない限り、デジタル表示の固有誤差はフルスケールに対する%、出力は出力スパンに対する%となります。また、本器は動作原理上、次のインバータ出力を直接計測した場合、誤差が大きくなります。サイクル制御、SCR位相角制御、PWM

■詳細仕様

項目	仕様	
温度の影響	使用グループ I (usage group I) 10～35℃で階級指数内, 0～45℃で階級指数の2倍以内, -10～55℃で階級指数の3倍以内	
停電保証	最大値, 最小値, 積算値, 各整定値 不揮発性メモリにてデータ保持	
表示更新時間	1秒	
表示素子 / 構成	液晶表示器	主監視: 4, 1/2桁: 文字高10mm、副監視: 9桁: 文字高5.8mm
	バックライト	白色: 明るさについて5段階の整定が可能 常時点灯, 自動消灯 (無操作5分後), 常時消灯から整定が可能
LCD視野角	上下方向75°, 左右方向75°	
入力消費VA	電圧回路	0.25VA以下 (AC110V), 0.5VA以下 (AC220V), 0.6VA以下 (AC440V)
	電流回路	0.001VA以下 (電流センサ2次) 負担抵抗 20Ω
使用温湿度範囲	-10～+55℃, 5～90% RH 結露しないこと	
保存温度範囲	-25～+70℃	

■電氣的強度・機械的強度⁽²⁾

項目	仕様	
過負荷耐量 ⁽³⁾	電圧回路	定格電圧の2倍10秒間, 1.2倍連続
	電流回路	定格電流の40倍1秒間, 20倍4秒間, 10倍16秒, 1.2倍連続
	電源回路	定格電圧の1.5倍10秒間, 1.2倍連続 (AC電源), 1.3倍連続 (DC電源)
絶縁抵抗	制御電源、交流入力とアース間 (通信, 制御出力, 制御入力は接地)	DC500Vメガーにて50MΩ以上
	制御電源と交流入力, 制御入力, 通信出力, 制御出力間	
	通信出力, 制御出力, 制御入力相互間	
	制御出力相互間	
電圧試験	制御電源、交流入力とアース間 (通信, 制御出力, 制御入力は接地)	AC2210V (50/60Hz) 5秒間
	制御電源と交流入力, 制御入力, 通信出力, 制御出力間	AC2210V (50/60Hz) 5秒間
	通信出力, 制御出力, 制御入力相互間	AC500V (50/60Hz) 5秒間
	制御出力相互間	AC500V (50/60Hz) 5秒間
インパルス電圧試験 ⁽³⁾	制御電源、交流入力とアース間 (通信, 制御出力, 制御入力は接地)	6kV 1.2/50μs 正負極性 各3回
	制御電源と交流入力, 制御入力, 通信出力, 制御出力間	
	交流入力と制御電源, 制御入力, 通信出力, 制御出力間	
	制御電源端子間 (他回路は接地)	
	交流入力端子間 (他回路は接地)	

項目	仕様
振動	IEC 60068-2-6: 2007 による 振動数範囲: 10～55Hz, 振動振幅: 0.15mm (片振幅), 掃引サイクル数: 10回
衝撃	IEC 60068-2-27: 2008 による ピーク加速度: 500m/s ²

注 (2) 電圧回路と電流センサ2次は非絶縁となります。
(3) 電流センサと組合せての性能となります。

■外形寸法

項目	仕様
構造	外形: 横×縦×奥行 72×72×85mm 保護等級: IP40 質量: 約250g ねじレススプリング式端子台: 制御電源, 電圧入力, 電流入力, 制御入力, 通信出力, 制御出力 適合電線サイズ: 28AWG～12AWG, 0.08SQ～3.5SQ 電線剥離長: 5～6mm

■ノイズ耐量

項目	仕様			
減衰性振動波 イミュニティ ⁽⁴⁾ IEC 61000-4-12	ピーク電圧：2.5kV、周波数：1MHz±10%の減衰性振動波形を30秒・3回印加した時、誤差±10%以内および誤動作のないこと。また、通信エラー、通信停止のないこと。 ・電圧入力回路（ノーマル/コモン） ・交流電流入力回路（コモン） ・電源回路（ノーマル/コモン）			
方形波インパルス イミュニティ ⁽⁴⁾ 電力用規格 B-402	1μs,100ns幅のノイズを繰り返し5分間加えた時、誤差±10%以内および誤動作のないこと。 また、通信エラー、通信停止のないこと。			
	電源回路（コモン / ノーマル）	1500V以上	制御出力回路（コモン）	1000V以上
	交流電圧入力回路（コモン / ノーマル）	1500V以上	制御入力回路（コモン）	1000V以上
	交流電流入力回路（コモン）	1500V以上	通信出力回路（誘導）	1500V以上
電波イミュニティ ⁽⁴⁾	① 定格出力5Wのトランシーバ（150MHz, 400MHz） 誤差±10%以内および誤動作の無いこと。また、通信エラー、通信停止のないこと。 ② 携帯電話、無線LAN（2.4GHz, 5GHz）を接触させ断続照射したとき、誤動作のないこと。 また、通信についてはノイズ印加停止後、正常に通信していること。			
静電気放電 イミュニティ ⁽⁴⁾ IEC 61000-4-2	通常の使用状態にて行う。 気中放電15kV、接触放電：8kVにて誤差±10%以内および誤動作のないこと。 また、通信エラー、通信停止のないこと。コンデンサチャージ方式。			

注 (4) 電流センサと組合せての性能となります。

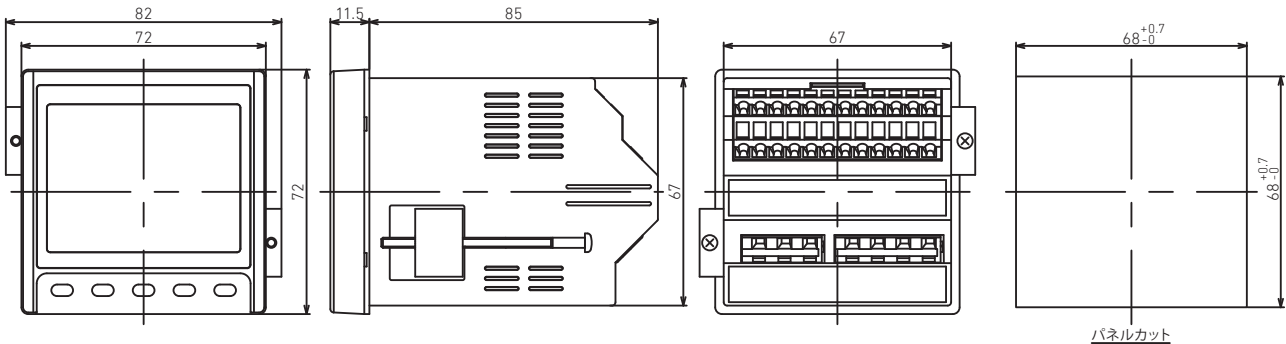
アクセサリ (別売品)

分割形 電流センサ	メーカー	形式	適用電流	定格出力	最大許容電流	二次最大 配線長 ⁽⁵⁾	外形寸法	CT窓径	質量
					(連続)				
	マルチ計測器	CTF-5A	AC0.01A～5A	AC1.66mA±1%	100Arms	10m/20m ⁽⁶⁾	25×33×41mm	10mm	約60g
		CTF-200A	AC1A～200A	AC66.66mA±1%	300Arms	50m	36×45×76mm	24mm	約190g

注 (5) 使用ケーブルはAWG20 (約0.5mm²) 以上をご使用ください。また、二次側配線 (シールド線含む) は接地しないでください。
(6) 使用ケーブルにより、二次最大配線長が異なります。AWG20(約0.5mm²): 10m、AWG18(約0.75mm²)以上: 20m。

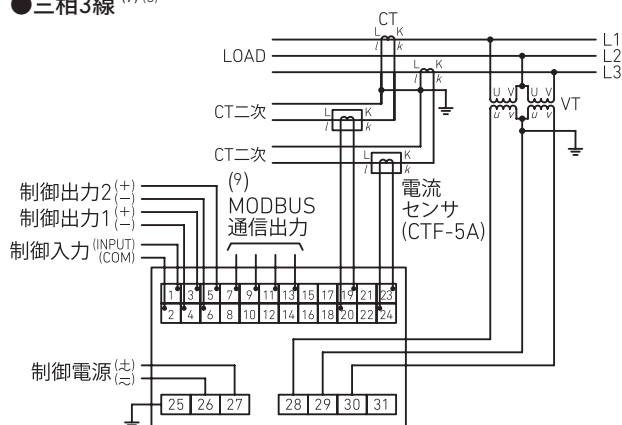
外形寸法図

単位:mm

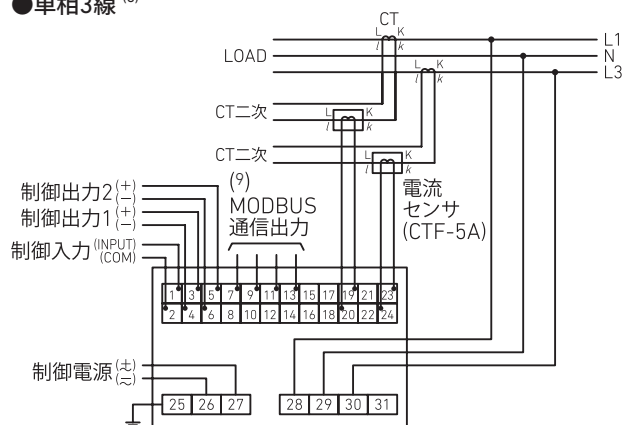


■結線図

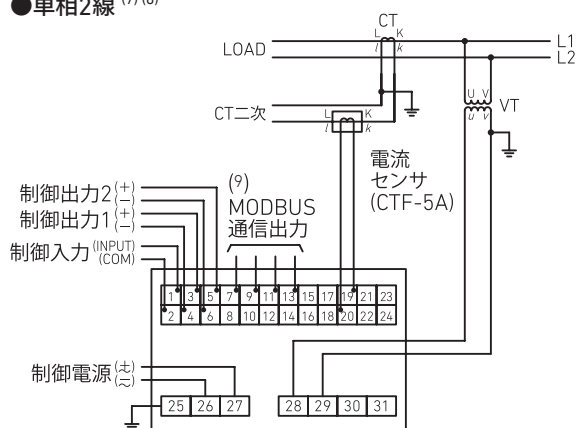
●三相3線 (7) (8)



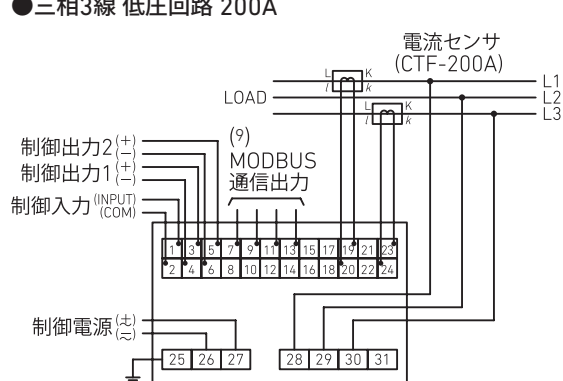
●単相3線 (8)



●単相2線 (7) (8)



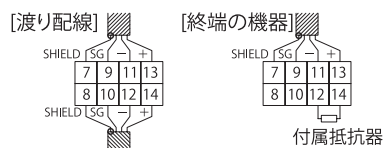
●三相3線 低圧回路 200A



注(7) 計器用変圧器 (VT) および二次定格5Aの計器用変流器 (CT) を使用し、計器用変流器の二次に5A定格の電流センサ (CTF-5A) を接続してご使用ください。

(8) 低圧回路 (600V以下) の場合、VT、CTの二次側接地は不要です。110V、220V、440Vダイレクト入力でご使用する場合、VTは不要です。

(9) 通信出力端子7と8、9と10、11と12、13と14はそれぞれ内部で接続されています。渡り配線する場合、下図のように接続してください。通信出力の終端抵抗は、接続形態上終端となる機器のみご使用ください。付属の抵抗器をMODBUS通信出力 (+) と (-) 端子間に接続してください。



本 社 住所：〒121-8639 東京都足立区一ツ家一丁目11番13号

東京営業所 電話：03 (3885) 2411 (代表)

FAX：03 (3858) 3966

京都営業所 住所：〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原1番19

電話：0774 (55) 1391 (代表)

FAX：0774 (54) 1353

<https://www.daiichi-ele.co.jp/>

※記載内容は性能改良等により予告なく変更することがあります。



72e6d0b
98-154b